

中国・四国地方では本学のみ、厚生労働省による学生との 「年金対話集会」を9月25日に開催します

1 概要

日時：9月25日（水）13時～14時30分

場所：県立広島大学広島キャンパス（広島市南区宇品東一丁目-1-71）

教育研究棟23階 2321中講義室

講師：厚生労働省大臣官房企画官（年金局併任） 古川弘剛（ふるかわ・ひろたか）氏

参加：経営情報学部経営学科の学生 約60名（予定）

県立広島大学経営情報学部経営学科では9月25日（水）、厚生労働省年金局の職員を招いた「年金対話集会」を開催します。現行の年金制度について厚生労働省から説明いただいた後、学生たちと年金をテーマにしたディスカッションを行います。この集会は、外部講師を招く「経営学特別講義Ⅰ」の一環として、村上恵子教授（経営学科長）の指導のもと、行われます。

金融庁の報告書に端を発した「2000万円問題」で、改めて年金に対する関心が高まっています。現在の制度で将来、自分は安心して暮らしていけるのか。本当はいくら貯蓄しておく必要があるのか。集会は学生たちに年金制度を理解してもらい、自分の年金について考えてもらうことを目的としています。ディスカッションでは貯蓄や保険にも触れる予定で、学生たちからの率直な意見を聞き、今後の政策立案に生かしていく狙いがあります。

「年金対話集会」は厚生労働省が今年6月から10月にかけて全国6か所で開催しており、これまでに愛知県、北海道、山形県で実施。中国・四国地方では本学のみで開催となります。



*愛知県立大学で行われた年金対話集会の様子（6月12日、厚生労働省提供）